

(仮称) 古河市新公会堂基本構想・基本計画(案) 中間報告シンポジウム
質 疑 応 答 (要 旨)

質問者 1

- ・小ホールは、客席は移動式で多機能に平土間で使えることも伺っていますが、今回の舞台はどのようなつくりになるのか、より具体的にお聞きしたい。

回答者(モデレーター:伊東 様)

質問については、今後の検討だと思います。要望としては、小ホールの舞台の袖、舞台空間をとってほしいと承っておきます。詳細は、基本構想・基本計画がまとまったところで発表になると思います。

質問者 2

- ・概算事業費が 179 億円とありますが、そのうちの借金の額とその借金を返済する年数、返済の財源を教えてください。
- ・建設した場合、借地であればそれらの金額を含めた維持費を教えてください。
- ・とねミドリ館は、土地を借りています。この土地を借りている土地代も含めた年間の維持費をできるだけ正確に教えてください。

回答者(パネリスト:針谷市長)

借地については、学校関係を含めて多数ありますが、今後、計画的に買収していきますので、借地は未来永劫続くものではありません。

財政計画については、現在調整中ですが地方債による借り入れをし、建設費等を賄う計画がされると思います。その場合、事業費の 75%については、借り入れの想定をしておき、残りの 25%については、公共施設整備基金が約 20 億円ありますので、それを活かしていきたいと思います。

しかし、なぜ借金するのか、将来にそういう負担を残すのかという意見もありますが、新公会堂はこれから 50 年以上使う施設になるため、今後使う方たちにも負担をしていただくという負担の公平を維持するため、お金を借りて返していくことが当然だと思います。

また、新公会堂の延べ面積は、約 1 万平米で中間報告がされていますので、維持管理費は年間で 1 億 2000 万円から 1 億 5000 万円程度かかることが一般的です。これはあくまでも維持管理の最低限の費用となりますので、様々な催し事を行うほど費用はプラスでかかることになると思います。

とねミドリ館の維持費については、改めて調べさせて、正確に回答させていただきます。

回答者（プロジェクト推進課：追加回答）

共和電設とねミドリ館（生涯学習センター）維持管理費

令和6年度 維持管理費 28,600,000 円/年（土地借上料 12,600,000 円含む、人件費除く）

回答者（パネリスト：小林 様）

針谷市長の建設事業費や、誰が負担するのかという意見は、そのとおりだと思います。先程、劇場や音楽ホールの法律ができた話がありましたが、事業費に関しては国等からの補助金があります。そのため、その分野の専門性を持った人や、文化や、芸術、文化政策の動向をよく知る人、人材が必要となる、それによって、事業や、新しいことを行う時に国や、県から補助金を確保することができると思います。そういう人材を配置することがすごく大事だと思います。そうすれば自分達で全ての経費を負担していくことにはならないと思います。

質問者 3

- ・近隣の文化施設の稼働率は 50%程です。最低でも約 179 億円、団塊の世代が全員後期高齢者、少子化になるなかで、古河市は財政も厳しく、地方債をつかうにしても将来、大きな負債になってくるのではないかと思います。
- ・地権者が 70 件ぐらいいると思いますが、地権者の同意もまだ得られていないのではないかと思います。ある議員が安価で周辺の土地を親族名義で買い占めていると聞いています。今後、事業を進めることについて、周辺住民の説明会もやっていない。同意を得られるか疑問です。今後、リコール運動が起きるのではないかと心配しています。それにも関わらず市は先行してここに造るとかなり宣伝していますが大丈夫でしょうか。
- ・この候補地（大堤地区）は 5m から 10m の水没地区です。向堀川が流れていて越水も多く高压線も通っています。なおかつ自衛隊駐屯地があり、そこに弾薬庫もあります。そういうところになぜ、防災機能の観点がある施設をつくるのか。179 億円の内、造成工事が 20 億円とありますが、旧古河体育館跡地に造ればこの費用は必要ないのではないのでしょうか。旧古河体育館跡地は市の土地で、警察署などいろいろなところが集中しており、駅からもまっすぐです。なぜ、大堤地区につくるのかが一番の疑問です。

回答者（パネリスト：針谷市長）

財政問題については、先ほどリコールを心配する意見をいただきましたが、私が市長になってから 8 年間で 100 億円以上の借金を返しており、今後、借り入れをしたとしても実質公債費比率や、将来負担率は、現状では健全財政の範囲内で収まる試算もできています。

毎年度ごとの負担についても考え、財政運営をしていかなければなりません。また、永続性が重要だと考えており、しっかりとした財政運営計画を策定し、国や、県の補助、あるいは

は市がお金を借りる場合は、民間が借りることとは違います。しっかりとした計画があって、返せる、それが前提で造られものと考えており、ご安心いただければと思います。

利権関係については、地権者に議員の親族もいることは確認しています。市議会でも質問がありましたので、その事実関係については、事実と反することだと答弁をいたしました。

地権者の同意については、地権者協議会を開催しておりますが、役員会などでも猛反対している地権者がいるとの報告は聞いておりません。そのため、現状では地権者全員の同意が得られるであろうと思います。

稼働率については、まさにこれから市民力に関わってくることだと思います。

なお、建設候補地については、最終的に決定したわけではなく、市民委員会の中間報告において大堤地内に選定されたということです。最後は市執行部で分析して、しっかり予算化をし、議決機関である議会にかけていくこととなりますので、改めて申し上げさせていただきます。

回答（パネリスト：小林 様）

市民委員会の中でも大堤地区の建設候補地については、浸水することも含めて検討し、それをどのように処理をして建てるのか相当検討してきました。その上で、候補地を大堤地内に選定しました。

今回、計画をたてるにあたっては、何に使うのかを考えました。例えば、大ホール機能だけを持つ新公会堂を造るなら、敷地全体に建築すれば旧古河体育館跡地にも造ることはできますが、ホワイエや、創造支援機能もなく、市民に求められているような新公会堂は造れませんでした。また、旧古河体育館跡地に駐車場をつくるには、向堀川を渡った向かい側に立体駐車場を造るため不便です。

大堤地内については、市民委員会で議論してきた機能をすべて入れて、駐車場も整備することができ、駐車場のアクセスもよいことから、この候補地に選定されました。河川や、市街地からの雨水のことは、私たちも何回も考えました。これから状況によっては、もっと悪くなるということも考えて、今後、整備をしていく必要があるということをお前提にしています。

回答（プロジェクト推進課：追加回答）

（仮称）古河市新公会堂の建設候補地については、「旧古河体育館跡地」と「大堤地内」の各候補地に市民に求められた施設機能、ゾーニングの検討方針を基に施設建設することを想定し、様々な観点から比較して総合的に判断しています。

【参考資料】

従来の公共事業

※金額は税込

項目	候補地 1（旧古河体育館跡地）	候補地 2（大堤地内）	備考
設計	約 8 億円	約 8 億円	
建物整備	約 148 億円（杭工事含む）	約 143 億円（杭工事含む）	平米単価 130 万円
外構整備	敷地内：約 1 億円（駐車場 17 台） 保留地：約 23 億円（駐車数約 600 台）	約 8 億円（駐車場約 670 台）	平米単価 3 万円
その他	歩道橋：約 1 億円 用地取得費：約 2 億円（保留地） 備品：約 4 億円	造成：約 12 億円（地盤改良・用地取得含む） 調整池：約 4 億円 備品：約 4 億円	
合計	約 187 億円	約 179 億円	

※杭工事の費用はボーリング調査の結果等により変わる可能性がある

※財源：施設整備費については、地方債（充当率 75%）の活用を検討

※調査費は除く